

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和元年 6 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人 一般社団法人 日本病院会 教育部教育課
〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.jha-e.com/>
受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日
定 価 1 部 150 円 1 カ年 1,600 円(税込・送料込)
郵便振替 00190-5-396045
名 義 一般社団法人 日本病院会 通信教育部

スペシャリスト（プロ）としての自覚を

星 賢一

飯塚病院附属有隣病院 診療情報管理室 室長

医師や看護師、コメディカルなど国家資格を有する人は、良質な医療の提供に邁進する。診療情報管理士は、医療情報を収集・分析し、そして質の高いデータとして利活用できる形にすることが、昨今、当たり前のような世の中になりつつあると感じている。ただ、そのためには何か不足しているように感じる。35,000 を超える人々が診療情報管理士、つまり『スペシャリスト』としての認定を受けても、その一人ひとりの診療情報管理士のレベルは同じなのだろうか？と疑問に思うことがある。医療が日々進歩している中で、資格取得後も自己研鑽する意識があるのか？と。

認定を受けた後も、日々自己研鑽に励む気持ちを抱え、日本診療情報管理学会や日本診療情報管理士会などへ入会し、年間、全国各地で開催される勉強会へ参加している人は全体の 10~20%に過ぎない。これでは、医療機関に勤務しながら「私は診療情報管理士です。その分野においてはスペシャリストです。」と胸を張って、他の有資格者の前で言えるだろうか？自分自身だったら言えないし、相手にもしてもらえないだろう。

もし、スペシャリストとして「医療の質を高めたい、医療情報を質の高いデータとして利活用して診療の現場や病院経営に役立てたい。」と思うのであれば、井の中の蛙にはならず、学会や勉強会などへ積極的に参加をして、情報収集や勉強など自己研鑽に励むべきである。当院の例をあげれば、有資格者の殆どが関係する学会や団体へ入会して勉強をしている。

どんなプロ野球選手でも努力をし続ける。1 日休むと取り戻すためには 3 日かかると言われる。あの大リーグで活躍したイチロー氏でさえも、休むことなく日々努力をしていた。恐らく、今、通教生のみなさんは診療情報管理士の資格取得を目指して猛勉強をされているだろう。その分、合格したときの達成感、何ものにも代えがたいものである。診療情報管理士認定後も、自己研鑽を惜しまず、スペシャリストとしての自覚を持ち続けてほしい。その自覚こそが、院内での確固たる地位を築き、更には病院経営の指南役（病院の中心的存在）としても活躍できる源となる。

